

工場へようこそ!!

休憩所



工場で多くの方が安全に働けるためには、しっかりと休憩をし、その中でコミュニケーションをとることが大切です。お茶を飲みながら、時には誰かの差し入れを口にしながら、笑顔があふれる和やかなひとときです。

正門



電気溶融炉

ボーキサイト、パンケツといったアルミナ質の鉱物を配合し電気炉で溶融します。溶融中は2,000℃ほどの高温、肉眼で直視できない光を放ちます。トサエメリー製造における心臓部です。



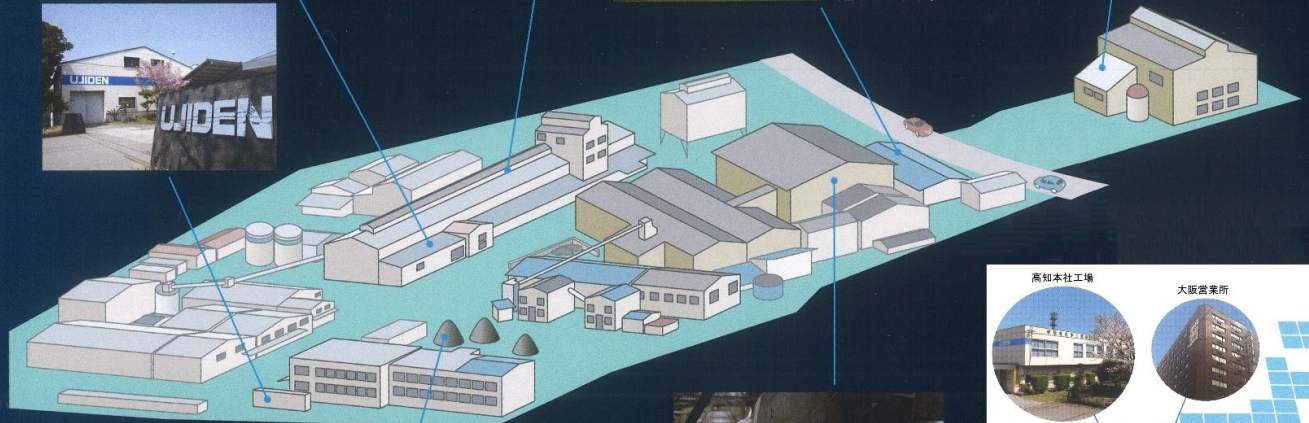
実験室

お客様の要望に応えるため、社会や環境に配慮したよりよい製品を生み出すために、試行錯誤を繰り返しています。



研磨機械組立工場

お客様のオーダーに応じて設計された研磨機械を製作します。



インゴット(トサエメリー)保管

溶融させた鉱物の塊をじっくりと冷却します。この溶融と冷却の過程で化学組成と結晶構造が安定し、トサエメリーの素となる「インゴット」となります。粉砕機に入れる前に欠片状にします。敷地にこもりと積まれた「宝の山」です。



エメリー加工

水と熱の力を借り粉砕しながら、ふるいにかけて研磨材としての精度を高めていきます。安全第一とチームワークで梱包までの作業を行い、研磨材・トサエメリーを完成させます。



会社概要 Company's Outline

社名 宇治電化学工業株式会社
 本社所在地 〒781-8010 高知県高知市棧橋通5丁目7番34号
 設立 1939年(昭和14年)11月
 代表者 代表取締役社長/西山彰一
 資本金 1億円
 従業員数 100名
 関連企業 西山グループ
 (株)西山合名/(株)高知ケンベイ/高知トヨタ自動車
 (株)高知トヨペット(株)/トヨタカローラ高知(株)/ネットトヨタ南国(株)
 パシフィック観光(株)/ワナミ(株)/ワナミジャパン(株)
 (株)アイ・ディ・ユー等 [30企業群・1財団法人]
 取引銀行 四国銀行 本店/(株)伊予銀行 高知支店
 (株)三菱UFJ銀行 高松支店/商工中金 高知支店
 主要輸出先 韓国、台湾、中国、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム等
 [30数か国]

沿革 History

- 1939年 ● 設立
- 1951年 ● 世界初の人造研磨材「トサエメリーエキストラ」開発成功・販売開始
- 1957年 ● 「トサリット」販売開始
- 1960年 ● 大阪営業所開設
- 1965年 ● 東京営業所開設
- 1969年 ● セラミックメディア販売開始
- 1984年 ● プラスチックメディア販売開始
- 1989年 ● パレル研磨機械販売開始
- 1995年 ● 「リサイクルストーン」販売開始
- 2000年 ● ISO9002取得
乾式研磨システム販売開始
- 2003年 ● ISO9001:2000取得 ※
- 2007年 ● 「トサエメリーファイン」販売開始
- 2012年 ● 「トサファインポリッシュ」販売開始
- 2017年 ● IoT搭載研磨機械販売開始
- 2019年 ● 創立80周年を迎える



乾式遠心パレル研磨機



UJIDEN

宇治電化学工業株式会社

<https://www.ujiden-net.co.jp/>



高知本社工場

〒781-8010
 高知県高知市棧橋通5-7-34
 TEL 088-832-6161(代表) FAX 088-832-6164
 TEL 088-832-6162(営業部)

東京営業所

〒103-0015
 東京都中央区日本橋箱崎町29-1
 TEL 03-3667-2426 FAX 03-3667-6803

大阪営業所

〒540-0026
 大阪府大阪市中央区
 内本町2-1-19 第10松屋ビル570
 TEL 06-6945-6180 FAX 06-6945-6709

香我美工場

〒781-5452
 高知県香南市香我美町下分771番2号
 TEL 050-3537-6162 FAX 0887-54-5207



宇治電化学工業は、30企業群・1財団法人で構成される西山グループの一員です。グループの基本理念は「信用」。グループ各社は相互信頼のかたい絆で結ばれています。

モノづくりの根幹で、人と関わり・人に役立つことに喜びを見い出せる… これが宇治電化学工業の仕事です。

宇治電化学工業は創業時から今に至るまで、お客様、そして世の中から本当に求められるモノ・サービスを提供していく姿勢を貫いています。人や社会の役に立ち、喜んでいただけることが仕事であり、対価はそのカタチであることを私たちは知っているからです。人の心を豊かにしない単なる金儲けは、必ずと言って良いほど長くは続かず終幕を迎えます。このことは企業にも人にも言えることです。「宇治電化学工業でどんな仕事をしたいですか?」必ず採用試験で私たちは問いかけます。この質問一つで、宇治電化学工業の業務内容や仕事のスタンスをしっかりと理解し、その上で

自分の力をどう役立てたいか考えられているかがわかります。人は皆、それぞれに素晴らしい感性・主体性・創造性を持っています。しかし、活躍の場を間違えば十分に力を発揮できません。宇治電化学工業という土壌で、あなたという可能性の種が活き活きと育ち花を咲かせ実をつけることができる=役立つことができる自信があれば、きっと私たちと「一緒に仕事をするのがおもしろい」と思えることでしょう。

宇治電化学工業株式会社
 代表取締役社長 西山彰一

※ ISO9001取得

ISO9001は、製品やサービスの品質保証を通じて、顧客満足向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現する国際規格です。当社は2003年にISO9001を取得しました。



会社訪問・工場見学随時受付中!

「研磨」や「宇治電化学工業」についてもっと知りたい、仕事の現場に触れてみたい皆さんをお待ちしています。随時受付けておりますのでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ・エントリーはこちらで

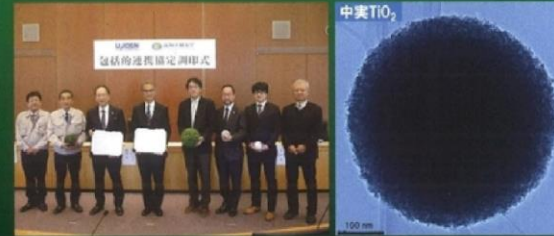
<https://www.ujiden-net.co.jp/recruit/>



メールでのお問い合わせは
recruitment@ujiden-net.co.jp

産学連携など新事業展開

高知工科大学の小廣教授が開発した「MARIMO」は、ナノサイズの粒子が凝集した球状多孔体です。表面に微細な凹凸が無数にあり、さまざまな物質の融着力を高める画期的な新材料で、薬剤、化粧品、触媒・触媒単体、太陽電池など多岐にわたる分野での応用が期待されています。当社は高知工科大学と共同研究チームを発足させ、当社の「研磨材製造技術」を応用した研究を進め、「MARIMO」実用化にむけての量産技術を確立することに成功させました。



YAMAKIN株式会社の歯科用接着剤「KZR-CAD マリモセメントLC」は、MARIMOナノ粒子を使用した初の製品です。令和3年第36回高知県地場産業大賞を受賞しています。



高知工科大との共同開発は、当社のメインの業務内容である「研磨材」ではなく、「研磨材製造技術」を他の資材の製造に応用することを目的としているため、私自身もこのプロジェクトがスタートする前は、正直ピンとこないところがありました。しかし、話を進めていくうちに、当社が長年培った研磨材の製造技術を活用する分野を広げることができる可能性を見出すことができるという確信を持ち、自信を持って仕事をしています。

開発部機能性粒子グループ主任 研究員
岡添智宏(1994年入社)

What's UJIDEN

削る 磨く
研磨で世界のモノづくりを支える会社です。

- 「研磨材をつくる」
 - 「研削・研磨するための機械をつくる」
 - 「より良い研磨工程を提案する」
- この3つの事業をベースに、研磨材製造技術を駆使。

受注加工・設備開発

「この素材をこんなふうに磨きたい」というニーズにオーダーメイドで研磨工程を提案します。お客様の課題を解決するには、研磨材や研磨機械の選択、導入工程の最適化などすべてに多くの知識と経験が要求されます。



皆さんが何気なく日常で使っている金属製品や木製品のほとんどは、「研ぐ」「磨く」という工程を経ています。そのため、メーカーの製品開発に研磨材・研磨機メーカーとして携わることができるのが面白いですね。人気の「あのスマホ」や「あの車」の開発にも営業として関わったことがあります。今は、自社の研磨材製造技術を活かした、素材の粉碎業務を受託する事業部に所属していますが、こちらもいろいろな企業の重要な部分に触れることができるので、営業とはまた違った目線でのやりがいを感じています。

受託加工 設備開発 中田 毅(2000年入社)



高知県では、自分が大学で退学していた電気工学系の知識を活かせる企業が無いのではと思っていましたが、自社の製造機械・設備の電気系統の点検や修理を行ったり、お客さまに納品するための研磨機の配線など、化学系の企業でも需要があることを知り、就職しました。工場内の製造ラインは1か所でトラブルが起きると、すべての工程がストップしてしまうので、修理にスピードを要求されるので大変ですが、解決できると心から感謝されるのでやりがいを感じます。人とのコミュニケーションは得意なほうではないですが、社内風土が和やかなので、仕事を通じて会話を楽めるようになりました。

製造部 技術課 遠藤佑真(2019年入社)

研磨材事業

お客さまの製品に最適な研磨材を開発しています。1951年に誕生した世界初のアルミナ質人造研磨材「トサエメリー」をはじめ、バレル研磨用のプラスチック成形トサリットや、コーンやクルミなど植物由来の研磨材も開発しています。



研磨材・研磨機製造・開発

自社の研磨材の優れた性能を最大限活かすための研磨機を開発し、製造を行っています。



地球環境に配慮した工業廃水が出ない「乾式バレル」や、データ管理や異常の早期把握などが可能なIoT機能搭載の研磨機など、未来を見据えた研磨機の開発実績が多数あります。



研磨システム開発事業

研磨材と研磨機、双方のノウハウを駆使し、お客さまの課題を解決し、よりよい製品づくり、作業環境整備の役にたてる提案をしています。



入社時に配属された機械メンテナンスで、お客さまの生きた声に向き合った経験は、後に配属された設計の部署、そして営業となった今はその両方の経験が大いに役立っています。国内の取引先では2世代・3世代にわたって我が社と長年お付き合いいただいている企業さまがあり、長年培ってきた信頼関係の大切さを実感します。海外のお客さまとの出会いは、新たな発見や課題との出会いでもあり、刺激を常に受けています。

海外営業Gr 課長 下司将義(1992年入社)